

Course number		G-LAS00 80013 LJ44					
Course title (and course title in English)	キャリア・アントレプレナーシップ論 Career Entrepreneurship			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Office of Institutional Advancement and Communications Program-Specific Professor, KITANI TETSUO Office of Institutional Advancement and Communications Project Associate Professor, SHINMURA KAZUHIRO		
Group	Common Graduate Courses		Field(Classification)		Social Responsibility and Profitability		
Language of instruction	Japanese		Old group		Number of credits	1	
Hours	15	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・Intensive, First semester	
Days and periods	Intensive 9/19,9/22 2-5periods		Target year	Graduate students	Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>「アントレプレナーシップ（起業家精神）は、単に起業することを指すのではなく、イノベーションを生み出すために不可欠な資質である。</p> <p>イノベーションを実現するには、新しいアイデアが普及し、人々の生活を変え、経済的な価値を創出することが求められる。このプロセスを主導するのがアントレプレナー（起業家）である。特に、テクノロジー主導型の企業やディープテック研究開発型企業の創業者・経営陣・投資家には、専門的な知識や経験が不可欠であり、米国ではPh.D.（博士号）がその専門性を示す指標の一つとされている。</p> <p>大学院に進学することで、自ら起業する道や、スタートアップ企業への就職といったキャリアの選択肢が広がる。これは、大学院教育の大きな魅力の一つである。日本においても、大学院以降の研究経験がキャリア形成の新たな道を開くという認識が広く共有されることが重要である。</p> <p>また、「インクルージョン」や「ダイバーシティ」といった概念のもと、それぞれの個性を最大限に活かし、他者と異なる視点や価値観を持つことが尊重される社会の実現が求められている。これは、単に個人の成長にとどまらず、キャリア形成においても重要な考え方となっている。人と違うことに挑戦することが、社会的に受け入れられ、積極的に評価される環境を整えることが不可欠である。</p> <p>本授業では、多様な分野で活躍するアントレプレナー（起業家）を講師として招き、それぞれがどのように独自のキャリアを築いてきたのかを学ぶ。キャリア形成に関する基本的な知識や考え方を理解するとともに、自身のキャリアを多面的な視点から整理し、今後の方向性を考える機会とする。</p>							
[Course objectives]							
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成に関する基本的な知識や考え方を理解できている。 ・講義や討議の内容を理解し、自身の将来のあり方に引き付け解釈できている。 ・本授業を通じて、将来のキャリア志向を意識し、整理できている。 							
[Course schedule and contents]							
<p>本授業は講義形式と討議形式とを組み合わせ実施する。実際のアントレプレナーのキャリア形成を参考とし、自身の将来のあり方を省察してレポートにまとめることで、キャリア志向を整理する。</p>							
<div>-----</div> <div>Continue to キャリア・アントレプレナーシップ論(2)</div>							

キャリア・アントレプレナーシップ論(2)

9月19日(金)

2限「イントロダクション」木谷 哲夫

3限「キャリア概論」

フォースタートアップス株式会社 代表取締役社長 志水 雄一郎

4限「研究開発型スタートアップによる核融合への挑戦」

京都フュージョニアリング株式会社 共同創業者 兼 取締役会長 長尾 昂

5限「ソーシャルビジネスへの挑戦」

特定非営利活動法人WELgee 代表理事 渡部 カンコロongo 清花

9月22日(月)

2限「ロボティクス研究者から起業家へ」

SMC株式会社 技術本部 部長 尹祐根

3限「アントレプレナーとしてのキャリア」

ウォンテッドリー株式会社 代表取締役CEO 仲暁子

4限「スタートアップから大企業への軌跡」

株式会社マネーフォワード 代表取締役社長CEO 辻庸介

5限 まとめとフィードバック

新村 和大

< 授業の進め方 >

講義(50分) 学生間での討議(10分) 講師を交えた討議(30分)

本授業は対面で実施する。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業への参加状況、レポート、講義内における討論などをもとに総合的に評価する。

[Textbooks]

必要に応じて講義内容に沿った資料を配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

必要に応じて適宜指示する。

(Related URL)

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/ims/>(成長戦略本部のアントレプレナーシップ人材育成プログラム、セミナー等の情報、起業相談等については下記URLを参照すること。)

[Study outside of class (preparation and review)]

必要に応じて適宜指示する。

[Other information (office hours, etc.)]

講義に関する質問等は以下のメールアドレスで受け付ける。

ims@saci.kyoto-u.ac.jp